

H22 シカ年度 ルサー相泊地区におけるエゾシカ捕獲結果

★同地区の南端、羅臼町ルサ川河口付近の約 400 m×200 m の狭い範囲内において、シャープシューティング(SS)と囲いわなの合計で、**125 頭**(オス成獣 70 頭、メス成獣 49 頭、0 歳 6 頭)を捕獲。

1. 餌場を固定した爆音機併用シャープシューティング(略称 SS)(ルサ川右岸)

※ルサ川右岸の環境省所有地内(囲いワナからの距離約 300 m)において、12 月 10 日～3 月 5 日に計 18 回(日)実施、24 頭の捕獲に成功。

後日死亡を確認した負傷逃走の 1 頭を加えると、計 25 頭を捕獲。
(オス成獣 11 頭、メス成獣 12 頭、0 歳 2 頭(雌雄各 1 頭))

<実施内容>

- ・餌付け地点には、毎回同じピックアップトラック(デニコラ博士アドバイスにより荷台に射撃台を取り付けたもの)で同じ服装の人がほぼ同じ時間帯に餌を運搬し、人と車の接近にエゾシカを馴らした。また、同時に日中は継続的に爆音器を鳴らし、発砲音にも馴化させた。
- ・当該地区におけるエゾシカの活動時間帯に合わせて、原則として午後に数時間待機し、捕獲を実施。
- ・捕獲実施間隔は中 3 日以上。射手は 1 名で概ね同一人物に固定。
- ・餌付けの餌運搬用のピックアップトラックの荷台に射手が乗り、デニコラ博士のアドバイスに従い、40～50m の近距離まで接近。射手は射撃台から発砲する方式を採用。
- ・餌付け開始は 11 月 18 日、爆音器稼働開始は 12 月 3 日。
- ・誘引餌は乾草ブロックとヘイキューブ(ともにアルファルファ)。圧ぺんコーンも少量使用。

<実施結果> 表 1-3-1 参照

- ・12 月に 14 頭、1 月 5 頭、2 月 3 頭、3 月 2 頭捕獲。
- ・午後の連続待機×18 回で、射手の総待機時間は 61 時間 37 分。
- ・射手待機中(日没前)のべ 50 頭が餌場へ出現。エゾシカの餌場滞在時間は計 3 時間 4 分(射手待機時間の 5%)。← 待ち時間が非常に長い。
- ・上記の間に発砲可能な頭数の状況が 18 回発生し、38 発の発砲で計 24 頭を捕獲。
- ・群れに対する発砲後の半矢(手負い)逃走 2 頭、無傷逃走 17 頭。左記の他、車両や来訪者の攪乱による発砲を伴わない逃走や、発信機付き標識個体に対する発砲見送り等がのべ 7 頭。
- ・半矢 1 頭(オス成獣)は後日死亡を確認(狙撃 11 日後に付近で死体発見・回収)。額を狙って下顎に命中していた。← シカが正面を向くと頭部の的が非常に小さくなる。

<試行錯誤の経過とエゾシカの動向>

- ・12 月は比較的順調に捕獲された。
- ・1 月は、SS で発砲するには多すぎるエゾシカが餌場に集中する傾向が強まった。また日没前の餌場への出現回数も減少したため、餌を減量して夜間に餌箱のフタを閉める操作を試行した(1 月 20 日～2 月 7 日)。その結果、2 月初旬にはエゾシカが餌場に出現しなくなった(図 1-3-1)。
- ・2 月 8 日以降は餌を再び増量し、夜間も自由採食に戻した。以後、捕獲実施日(射手待機日)以外は少数が日没前に出現するようになった。← 射手の気配を察知?
- ・1～2 月の捕獲不調の原因としては、吹雪等の天候要因、新たな大量積雪の翌日は天候が回復してもシ

カが休息場所から餌場までの移動を忌避した可能性、積雪による行動圏縮小に伴う群れサイズの増大、近接する囲いワナ付近での小型重機による除雪作業音を忌避した可能性、一部個体のスマートディア化などが挙げられる。

表 1-3-1. 平成 22 年度冬期のルサ川右岸 SS 餌場におけるエゾシカ捕獲状況.

捕獲日	地点名	射手の人数	射手の		餌場周辺にエゾシカが視認された時間(分)	発砲可能な頭数状況の発生回数	左記状況下の群れ構成	捕獲頭数	逃走頭数(無傷)	逃走頭数(負傷)	発砲回数(発射弾数)
			待機時刻	待機時間(分)							
12月10日	A	1	12:50-15:41	171	3(14:37-40)	1	6(♂2/♀4)	4(♂2/♀2)	1(♀1)	1(♀1)	7
12月17日	A	1	11:00-15:43	283	9(12:00-12:09) 1(12:10-11) 11(14:12-23) 5(14:45-50)	4	1)3(♀3) 2)1(♂1) 3)2(♂1/♀1) 4)8(♂4/♀4)	1(♀1) 1(♂1) 2(♂1/♀1) 2(♂1/♀1)	2(♀2) 0 0 6(♂3/♀3)	0 0 0 0	4 1 2 4
12月21日	A	1	11:20-15:44	264	9(12:57-13:06)	1	1(♂1)	1(♂1)	0	0	2
12月25日	A	1	10:50-15:46	296	15(11:05-20) 20(11:40-12:00) 12(13:30-42) 12(14:42-54)	4	1)1(♀1) 2)1(♂1) 3)2(♀1/f1) 4)4(♂2/♀2)	0 1(♂1) 2(♀1/f1) 0	— 0 0 —	— 0 0 —	0 3 2 0
1月6日	A	1	11:50-15:56	246	0	0	—	—	—	—	0
1月18日	A	1	11:30-16:10	280	23(14:32-14:55)	0	—	—	—	—	0
1月19日	A	1	13:00-16:11	191	29(15:31-16:00)	0	—	—	—	—	0
1月22日	A	1	12:00-16:15	255	2(15:20-22)	1	1(♂1)	0	—	—	0
1月23日	A	1	14:30-16:16	106	8(15:06-14) 5(16:05-10)	2	1)1(♂1) 2)8(♂2/♀5/f1)	1(♂1) 2(♀2)	0 6(♂2/♀3/f1)	0 0	1 2
1月31日	A	1	13:30-16:27	177	5(15:10-15)	1	3(♂3)	2(♂2)	0	1(♂1)	3
2月4日	A	1	14:00-16:33	153	0	0	—	—	—	—	0
2月8日	A	1	13:30-16:38	188	0	0	—	—	—	—	0
2月15日	A	1	13:25-16:48	203	0	0	—	—	—	—	0
2月16日	A	1	16:15-16:49	34	0	0	—	—	—	—	0
2月19日	A	1	14:00-16:53	173	0	0	—	—	—	—	0
2月25日	A	1	13:00-17:02	242	0	0	—	—	—	—	0
2月26日	A	1	13:30-17:03	213	1(13:34) 3(14:39-42) 5(15:29-34)	3	1)1(♂1) 2)3(♀2/f1) 3)2(♀1/f1)	0 1(♀1) 2(♀1/f1)	— 2(♀1/f1) 0	— 0 0	0 2 2
3月5日	A	1	13:30-17:12	222	6(14:54-15:00)	1	2(♀2)	2(♀2)	0	0	3
計		18		3697	184	18	50 (♂20/♀26/f4)	24 (♂10/♀12/f2)	17 (♂5/♀10/f2)	2 (♂1/♀1)	38
↑ 発砲時の無傷逃走個体のみ(非発砲時の逃走は含まず)											

- ・不調だった 1~2 月に射手が待機した計 13 回のうち、7 回はエゾシカが日没前に餌場へ出現せず。そのうち 3 回は日没直後(平均 9 分後; 範囲 2~21 分)に出現した。日中の捕獲成功日も含め、日没後 30 分以内に群れが出現した日は比較的多かった(射手が連続待機した全 18 回中 8 回; 44.4%)。
- ・1 月 23 日に同じ群れのメンバー 2 頭への射撃・捕獲を経験した標識個体 17 番は、2 月 20 日までの約 1 ヶ月間、餌場への出現が確認されなかった(一度発砲を経験してスマートディア化した個体が、再度警戒心をゆるめるまでの期間が判明した一例)。
- ・待ち時間に対する捕獲効率が悪いため、3 月中旬は他の調査の合間に短時間射手が待機する体制としたが、SS には不適な頭数(6 頭)が餌場に出現したり、射手不在時間帯に単独オスが出現する等したため、発砲には至らなかった(3 月 9 日, 18 日)。

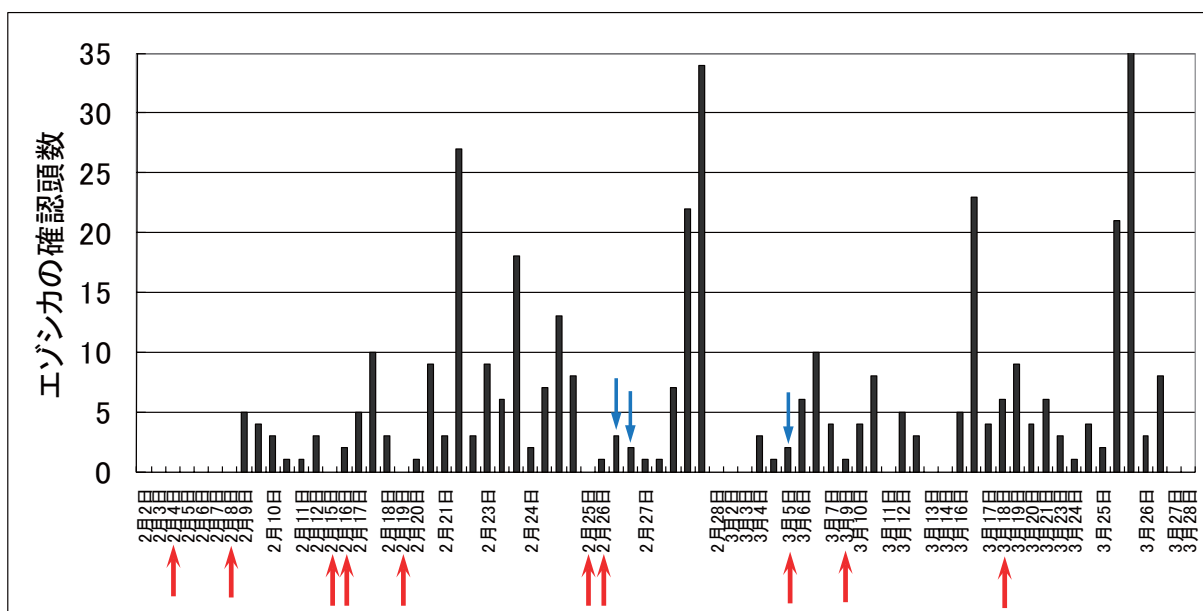
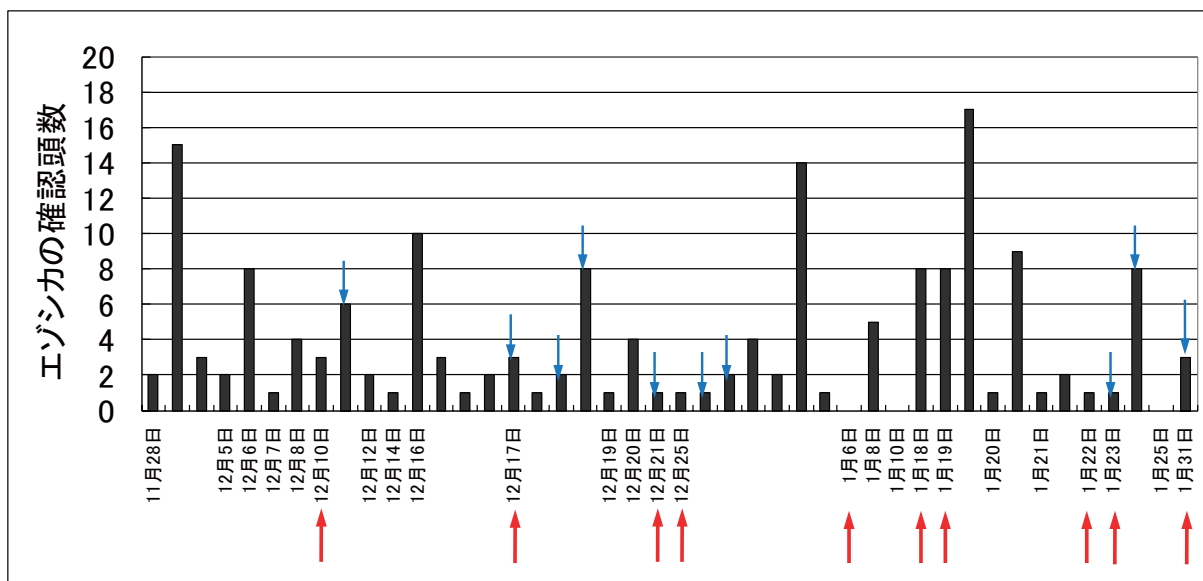


図 1-3-1. 平成 22 年度冬期（12～3 月）のルサ右岸 SS 餌場における日中のエゾシカ出現状況。
 （日付下の上向き矢印は射手の待機日を、ヒストグラム上の下向き矢印は発砲した群れを示す）

※上記のエゾシカ出現状況から、もし 12 月 1 日～3 月 31 日の 4 か月間、射手 + α の 2～3 名が毎日待機可能な体制を整え、5 頭以下の群れへの狙撃は毎回全滅成功、最低限中 3 日あけて次の発砲日を設定した・・・と仮定すると、合計 64 頭を捕獲できていた可能性がある(かなり楽観的な推定)。

・ただし実際の試行では、発砲 1 ラウンド当たり 1.7 頭の捕獲にとどまっており、ベテランのライフル射手でも、「5 頭以下の群れの毎回全滅」に成功することは難しい。

表 1-3-2. 公道からのシャープシューティング(SS)を想定した餌付け試験の結果.

日付	各地点での餌まき	各餌場にいた頭数				カウント実施時刻	天候
		Dsp2	Dsp4	Dsp6	Dsp8		
1月20日	なし	10	0	7	0	15:03-16:01	曇り時々地吹雪
1月25日	なし	0	0	0	0	15:10-15:55	曇り時々雪
2月9日	あり	0	2	0	0	14:40-17:15	快晴
	—	0	0	0	0	18:00-18:20	
2月10日	—	0	5	7	0	14:20-14:50	湿雪
	あり	0	7	4	0	16:30-16:55	
2月11日	あり	0	3	6	0	14:45-15:15	晴れ
2月12日	なし	ND	ND	ND	ND	—	雪
2月13日	なし	ND	ND	ND	ND	通行止	吹雪
2月14日	なし	ND	ND	ND	ND	通行止	晴れ
2月15日	あり	5	0	0	<u>2</u>	12:07-12:40	快晴
	—	0	20	0		12:47-12:55	
2月16日	あり	<u>2</u>	0	0	0	13:59-14:37	曇り時々雪
	—	<u>1</u>	6	12	<u>2</u>	14:43-15:00	
2月17日	あり	<u>2</u>	9	0	0	14:30-15:15	曇り
	—	<u>3</u>	2	7	0	15:25-15:50	
2月18日	あり	0	0	<u>2</u>	0	12:46-13:29	湿雪
	—	0	0	<u>1</u>	<u>2</u>	13:44-13:56	
	—	2	3	1	0	17:45-18:01	
2月19日	あり	0	1	0	0	12:55-13:17	晴れ
		0	3	0	0	13:18-13:25	
3月9日	なし	10	0	11	0	14:35-16:11	晴れ
3月25日	なし	1	5	0	0	15:19-16:54	雪

※Dsp2～8は地点番号。斜体太字は、餌場に誘引されていた頭数が3頭以下であり、かつ他の群れが周辺に見えなかった時を示している(= SS 狙撃適期)。

・もし公道からのシャープシューティングをH22シカ年度に実施できていれば、2月9～19日の11日間に最大14頭(二重下線部)を捕獲できていた可能性がある(捕獲間隔をあげなかった場合)。複数の餌付け場所を巡回できるため、効率が良い。

2. 囲いわな(ルサ川左岸)

※1月31日～5月26日に**のべ113頭を捕獲**。

繰り返し捕獲された標識個体の放逐分や脱走分等を差し引くと、**計100頭**(オス成獣59頭、メス成獣37頭、0歳(性別不明)4頭)を斜里町のエゾシカ有効活用施設へ搬出。

<実施内容>

- ・羅臼町ルサ川左岸(旧サケマスふ化場付近)に囲いわなを設置。
- ・本体工事期間:1月6日～1月21日(後日、電動扉や監視モニター等の追加工事若干あり)。
- ・餌付け開始日:1月23日。わな内の餌への餌付き確認日:1月30日。
- ・誘引餌には主に乾草ブロックを使用。牧草サイレージと圧ペンとうもろこしも少量使用。融雪後のヒグマ

誘引回避のため、ビートパルプやニンジンには厳冬期にも原則不使用。

・2月15日～5月26日は、囲いわから約300m離れたルサフィールドハウスの館内から、監視モニター(死角多し)を見ながら遠隔操作で扉の閉鎖作業を実施。

<実施結果>

- ・1月末に4頭、2月33頭、3月31頭、4月24頭、5月に21頭を捕獲(標識個体の重複含むのべ頭数)。
- ・前述の搬出個体100頭以外には、電波発信機付きのメス成獣のべ8頭(耳標番号2番1回、16番1回、17番5回、番号不明1回)と、無標識のメス成獣1頭が扉閉鎖時に一旦捕獲されたが、即日または翌朝放逐した。さらに4頭の無標識メス成獣または落角オスが扉閉鎖時に一旦捕獲されたが、翌朝までに脱走した(重機用出入口扉を固定していたロープが外れたため)。
- ・餌付き確認後の117日間に扉閉鎖30回。平均3.9日に1回の閉鎖で、3.8頭/回の捕獲ペース。
- ・扉閉鎖1回あたりの捕獲頭数の範囲は、1～23頭。頻度最多は3頭(30%)。全捕獲の86.7%が4頭以下の群れ。
- ・捕獲慣れした標識個体17番は、他個体を囲いわたりの内部へ誘い込む「おとり」として機能?
- ・捕獲個体の性比はオスに偏っていた(メス成獣は囲いわたりをオスよりも警戒?)。
- ・ヒグマは5月に囲いわたりの周辺を通過したのみ。

表 1-3-3. ルサ左岸の囲いわたりにおけるエゾシカ捕獲結果.

捕獲日	時刻	天候	シカ内訳				計	備考
			オス	メス	0歳	不明		
1月31日	15:45	晴れ	4				4	対岸で同日にSS捕獲成功
2月4日	16:15	曇り		1			1	同日SS餌場にシカ出現なし
2月6日	夕方	晴れ	1	2			3	
2月15日	16:15	快晴	1				1	同日SS餌場にシカ出現なし
2月19日	18:43	晴れ	1				1	同日SS餌場にシカ出現なし
2月22日	16:00	晴れ		4			4	
2月23日	18:00	快晴	9	13	1		23	標識付きメス2頭は放逐
3月1日	18:30	晴れ	3	1			4	
3月6日	17:00	晴れ	1	2			3	3/6以降対岸でSS発砲なし
3月8日	23:00	晴れ	2				2	
3月11日	午後	晴れ	3				3	
3月15日	16:00	晴れ	1				1	
同上	18:30	晴れ	3	4	1		8	
3月16日	16:25	曇り時々雪		4			4	メス1頭追い込み断念、放逐。
3月22日	20:00	晴れ	1	1			2	標識付きメス1頭は放逐
3月25日	22:00	晴れ		1			1	
3月26日	深夜24時	雪	2	1			3	
4月8日	夜	曇り	3				3	
4月11日	17:43	うす曇り	6	2			8	
4月16日	17:00	霧	2	1			3	
4月18日	17:42	曇り	1	1	1		3	標識付きメス1頭は放逐
4月21日	22:35	曇り		2	1		3	標識付きメス1頭は放逐
4月22日	17:48	曇り	2				2	
4月25日	13:12	うす曇り		2			2	標識付きメス1頭は放逐
5月1日	14:30	曇りのち雨	2	1			3	標識付きメス1頭は放逐
5月12日	19:00	晴れ	7				7	
5月14日	16:00	曇り	2	2			4	
5月19日	18:00	晴れ		1			1	標識付きメス1頭は放逐
5月20日	18:30	曇り時々雨	2				2	
5月26日	17:10	晴れ				4	4	翌朝には脱走していたため搬出できず
合計			59	46	4	4	113	←のべ捕獲頭数